



問題発見に役立つ

「過去トラ」のまとめ方とその活用

と き 2025年 12月 10日(水) (1日コース 10:00～17:00)

と ころ 中産連ビル 研修室(名古屋市東区白壁3-12-13)

ご参加
いただきたい方

- ☒ 使いやすく役立つ過去トラブル集を作りたい
- ☒ 繰り返し発生するトラブルで困っている。解決に過去トラブル集を活用したい
- ☒ これから過去トラブルを上手に活用したいと考えている
- ☒ 問題の再発防止を過去トラブルを切口に進めたい

本研修のねらい

改善点をどのように見つければ良いか問い合わせをいただきます。その回答の一つに「7つのムダ」が挙げられます。7つのムダは、加工、在庫、造りすぎ、手待ち、動作、運搬、不良・手直しの視点からムダを定義している考え方です。改善の打ち手として参考となる切口です。

同様に、問題を見つけるには、「過去トラブル(過去トラ)」を活用することがとても有効だと言われています。企業では、品質不具合やトラブルが繰り返し再発してしまうことがあります。これまでの品質不具合やトラブルから得られた情報を蓄積しているがその過去トラを必要なフェイズ(設計・現場等)までさかのぼって効果的に活用しきれていない問題もあるようです。活用されない理由は使い勝手が良くない、ベテラン社員や若手社員も在籍しその必要度合いに違いがある等、様々です。過去トラやノウハウの活用を容易にすることで、業務のムダが減り原価低減につながり稼ぐ力が向上します。

本研修では、過去トラを活用して問題発見力を向上して稼ぐ力を持つ人材の育成を狙うと共に過去トラ活用の計画書を策定することで今後の自社での取り組みに役立ててることができます。

研 修 プ ロ グ ラ ム

1.過去トラブル(過去トラ)とは

- (1)過去トラブルを蓄積して活用する必要性とは
 - ①トラブルの未然防止と早期解決
 - ②トラブルは改善の神の声
- (2)講師が経験したトヨタの活用例

2.過去トラが貯まらない理由と活用されてない理由

- (1)過去トラを登録者(投稿者)からの意見
 - ①登録すべき内容がよくわからない
 - ②登録ルールが複雑でよくわからない
 - ③登録するとどんな嬉しさがあるのかわからない
- (2)ユーザーからの意見
 - ①ほしい情報にたどりつけない
 - ②ほしい分野に限って情報が少ない
 - ③過去トラ集にある対策の信頼性が低い
- (3)これからの過去トラの効率の良い蓄積法とその活用

3.過去トラを有効に活用して得られる効果

- (1)ノウハウの一般化でチームワークを育てる
- (2)お客様へ提案することで信頼度アップを狙う
- (3)問題を発見するための思考(切口)として活用する
- (4)問題解決法としての手続き(ステップ)として活用する
- (5)原価低減として活用する

4.自社として取り組みを考える

- ①社内に向けて提案、提言を考える
- ②自社での取組を計画する
- ③計画を発表

5.まとめ

問題発見に役立つ「過去トラ」のまとめ方とその活用

◆過去トラブルを上手に貯めて活用することでムダを取り除き稼ぐ力の向上に役立ちます。

- ☑ 過去トラブルを取りまとめているが上手に活用できていない。
- ☑ メンバーの協力が得られず過去トラブルをまとめることができていない。
- ☑ 組織の壁が存在して、隣の部門で起こった過去トラブルが共有できない状況がある。
- ☑ 過去トラブルを活用して問題発見力を高めたい。
- ☑ 不具合の再発防止に過去トラブルを活用したい。

本研修では下記のことを学びます。

- ①過去トラブルをまとめる必要性
- ②過去トラブル情報の蓄積方法
- ③過去トラブルを活用した問題発見力の高め方

講師

株式会社デジタルコラボレーションズ 代表取締役社長 石井 創久 氏

2006年元トヨタ自動車 車両情報管理室長の職から独立。27年間の生産技術部門の経験を活かして産業界に貢献している。日刊工業新聞社の月刊誌「工場管理」での連載やITによるIEをテーマにした講演など数多く開催。自動車最終組立ライン設計において、将来の組立構想をはじめ、完結工程、サブAssy化等、効率の良い生産ラインの考え方や工程管理システム開発とグローバル展開など、多品種多量生産におけるSQCD最大化に向けて取組んだ。製品開発プロセス改革にも従事し、実務もITのキャリアを蓄積したエンジニアとして活躍した。経済産業省の第1期始動プロジェクトのシリコンバレー派遣20名に選拔され、独創的なナレッジシステムのアイデアは特許を50件程度有している。

【著書】『トヨタ 生産技術 誰も知らない考え方 プロセスプランニング』Amazon Kindle 2020,5月

『トヨタの製造現場はなぜ最適なラインをつくれるのか』 幻冬舎 2021,2月

【主なシステム開発】・知識管理システム開発提供(CKWeb) ・知識管理関係のビジネスモデル特許取得(50件)

・ものづくりテレワークシステム(CKWeb 2)開発提供

問題発見に役立つ「過去トラ」のまとめ方とその活用(12/10) 参加要項/参加申込書 ※必要事項をご記入のうえ、切らずにこのままFAXをお送り下さい。

参加費(1名様)	[中産連会員] 36,300円(消費税込) [中産連会員外] 41,800円(消費税込)
申込方法	①・下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずにファックスにてお送りください。 ・中産連ホームページの各セミナー詳細からもお申込み可能です。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ②受講票と請求書を開催日の約2〜3週間前に申込責任者宛へ郵送します。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 開催日の前日(土日祝日を除く)・当日・・・・・・受講料の100%
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 大土井 〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL052-931-9826 FAX0120-342-340 e-mail: seminar@chusanren.or.jp

年 月 日

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

参加者	所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

申込責任者	所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数
		百万円	人
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員	・ 会員外

今回ご記入いただく個人情報、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。
詳細は当連盟HP(<http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html>)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にレ点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない